

1540 | コミュニケーション研究II

3単位（通信授業1単位、面接授業2単位）

上原幸子教授、朝比奈ゆり講師

授業の概要と目標

「コミュニケーション研究I」での学習を踏まえ、個人と社会のかかわりをテーマにさらに発展的に学習する。制作のプロセスにおいて、人との協議や意識共有、リサーチを重視し、その成果物をコミュニケーションツールとして活用した実践活動を行う。その体験を通して、人と人・人と社会など、さまざまな場面でインタラクティブなコミュニケーションデザインの可能性を探る。そして、誰にでもわかりやすい見せ方、企画やテーマが最も生かされる表現手法など、メディアリテラシーの獲得を目指す。

課題の概要

○通信授業課題1

身の回りにある地域の活動を調べ、その経過をファイルにまとめる。また、面接授業で予定されている発表にむけて、その活動を紹介する展示パネルを制作する。

○面接授業課題

通信授業で取り上げた活動の展示パネルをもとに、「コミュニケーションデザイン展」を計画し実施する。

○通信授業課題2

面接授業で得られた情報を、訪問先に報告するためのレポートを作成する。

*課題については学習指導書『コミュニケーション研究I・II 平成29年度』を必ず参照すること。

授業計画

通信授業1



面接授業



通信授業2

[通信授業] ※面接授業の初日に持参する。

取材のファイリング 展示パネルなどメディアの制作

[面接授業]

展覧会イベントの企画と開催

[通信授業]

展覧会イベントの報告書の作成

成績評価の方法

通信授業と面接授業の評点による総合評価とする。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 4年次

[履修条件] コミュニケーションデザインコース3年次必修科目の単位をすべて修得していること（『学生ハンドブック』p.049の特例を除く）。

[備 考] デザイン情報学科コミュニケーションデザインコース4年次必修科目。
展示会場の都合により、受講人数を制限する場合がある。

教材等

教科書：若林直樹・及部克人監修『コミュニケーション研究I・II』（武蔵野美術大学出版局 2002年）

学習指導書：『コミュニケーション研究I・II 平成29年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017年）

その他

参考文献：高橋陽一監修、杉山貴洋編『ワークショップ実践研究』（武蔵野美術大学出版局 2002年）

浅海義治ほか企画、編集『参加のデザイン道具箱 PART1～4』（世田谷まちづくりセンター）

原研哉／阿部雅世『なぜデザインなのか。』（平凡社）

山崎亮著『コミュニティデザイン—人がつながるしくみをつくる—』（学芸出版社）

加藤哲夫著『市民の日本語—NPOの可能性とコミュニケーション—』（ひつじ書房）

西村佳哲『かかわり方のまなび方』（筑摩書房）